

製品名: キニノーゲン 1 (13J10) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13024**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.18mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:100-1:200,IP 1:10-1:100,IF-P 1:100-1:200
分子量	72kDa

抗原情報

遺伝子名	KNG1
別名	BDK; Bradykinin; HMWK; Kallidin I; Kallidin II; KNG; KNG1; WILLIAMS FACTOR;
遺伝子 ID	3827.0
SwissProt ID	P01042
免疫原	ヒトキニノーゲン 1 の合成ペプチド

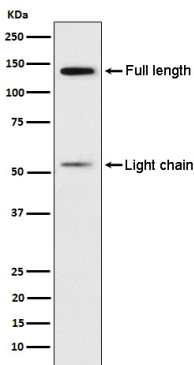
背景

(1) キニノーゲンはチオールプロテアーゼの阻害剤である。(2) HMW-キニノーゲンは、プレカリクレインおよび第 XI 因子を第 XII 因子の次に最適に配置することで、血液凝固に重要な役割を果たしている。(3) HMW-キニノーゲンは、トロンビンおよびプラスミンによる血小板凝集を阻害する。(4) HMW キニノーゲンから遊離される活性ペプチドであるブラジキニンは、さまざまな生理作用を示す：(4A)平滑筋収縮への影響、(4B)低血圧の誘発、(4C)ナトリウム利尿および利尿、(4D)血糖値の低下、(4E)炎症のメディエーターであり、(4E1)血管透過性の増加、(4E2)痛覚受容体の刺激、(4E3)その他の炎症メディエーター（例：プロスタグランジン）の遊離を引き起こす、(4F)心臓保護作用がある（直接的にはブラジキニン作用を介して、間接的には内皮由来弛緩因子作用を介して）。(5) LMW キニノーゲンは血小板凝集を阻害する。(6) LMW キニノーゲンは、HMW キニノーゲンとは対照的に血液凝固に関与しない。

研究分野

-

画像データ



ヒト血小板溶解物中のキニノーゲン 1 発現のウェスタン ブロット分析。